

味の素株式会社

Eat Well, Live Well.



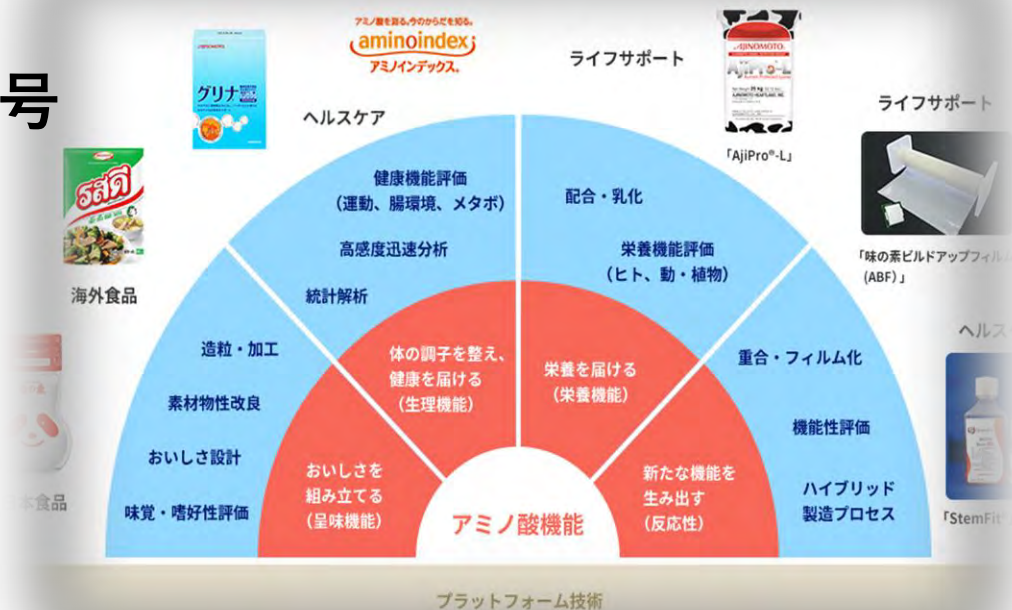
I . 味の素(株)の紹介

会社概要

【商号】	味の素株式会社
【本社所在地】	東京都中央区京橋一丁目15番1号
【創業】	1909年5月20日
【資本金】	79,863百万円
【連結売上高】	11,502億円 (2018年3月期)
【従業員数】	3,494人 (単体) (同上)
	34,504人 (連結) (同上)

【事業内容】

- ・ 食品：日本食品・海外食品
(調味料・加工食品・嗜好飲料・冷凍食品)
- ・ ヘルスケア：健康機能食品・健康機能評価
- ・ ライフサポート：電子材料・医薬原料
- ・ その他：物流、包材等



Ⅱ．スムーズビズ物流施策の目的と対応策

- 目的

- 必ず発生するBCPとして発着荷主・物流会社が協力してアクションプランを作成・準備する事で東京オリンピック・パラリンピック（以下オリパラという）におけるサプライチェーン・物流オペレーションの円滑化を図る。
- オリパラを契機に持続可能な物流施策を行政と連携して進める事で、施策の実効性の向上と2020年以降の大会のレガシーとする。

- 対応策

- 配送難易度別物流施策

- 首都圏を中心とするオリパラMAPに物流拠点と納品先をマッピング。
 - MAPを元に大会会場・首都高環状線（東京港）/外環/圏央道を同心円として捉え、配送難易度と対応策のマトリクスを作成し、食品各社やTDM事務局と連携し着荷主・納品先との具体的なアクションプランを計画・実行する。

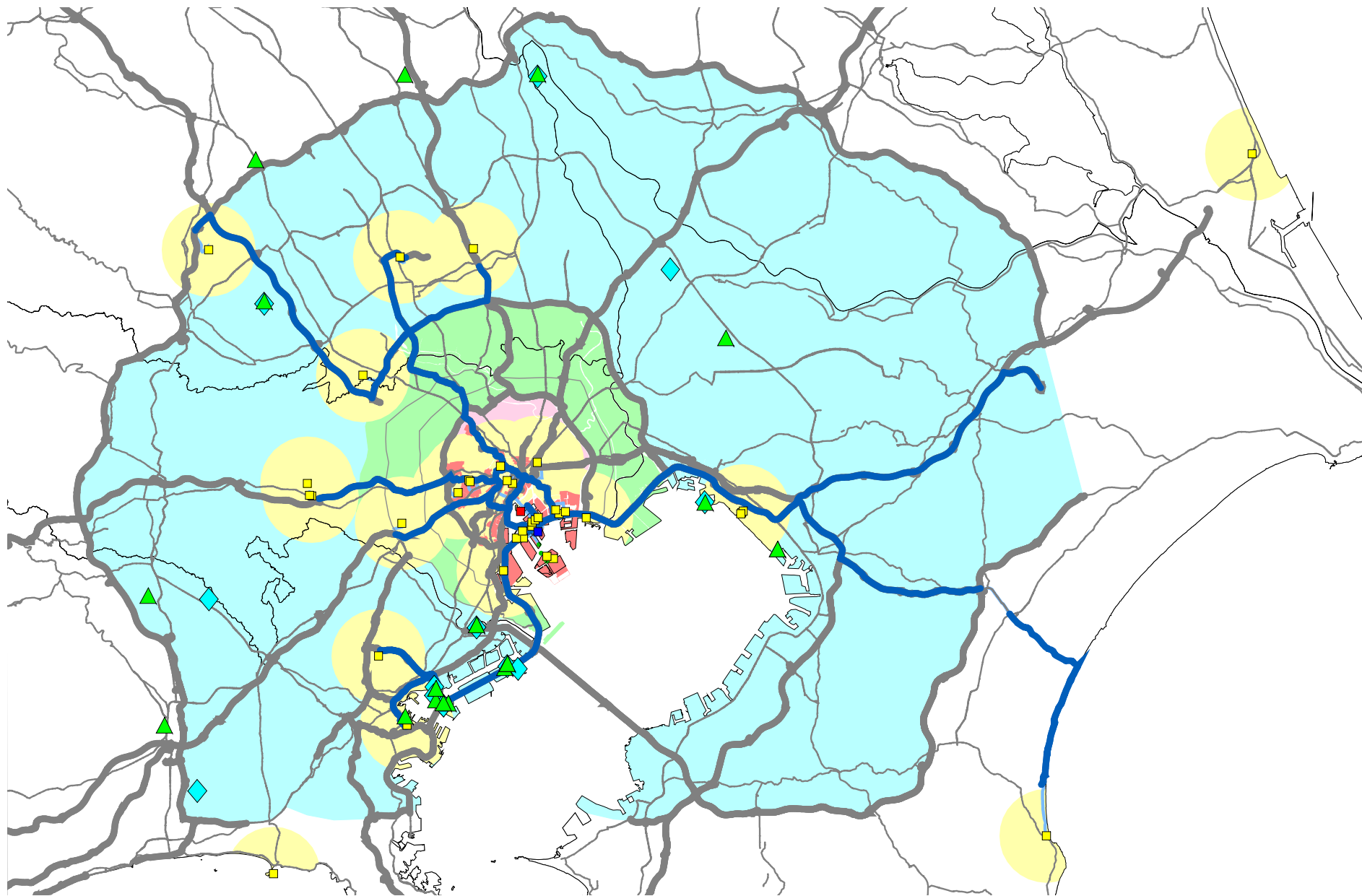
- 貿易業務施策

- 輸出入を大会会場となる東京港から横浜港等、近隣・その他港湾エリアへのシフト

- オリパラ時を想定したBCP訓練

- 在宅・サテライトオフィスを前提とした自然災害訓練（受注・出荷指図・在庫移動）

Ⅲ-1. 配送難易度別物流施策：発拠点M A P



【主要物流拠点】

-  味の素
-  F-LINE

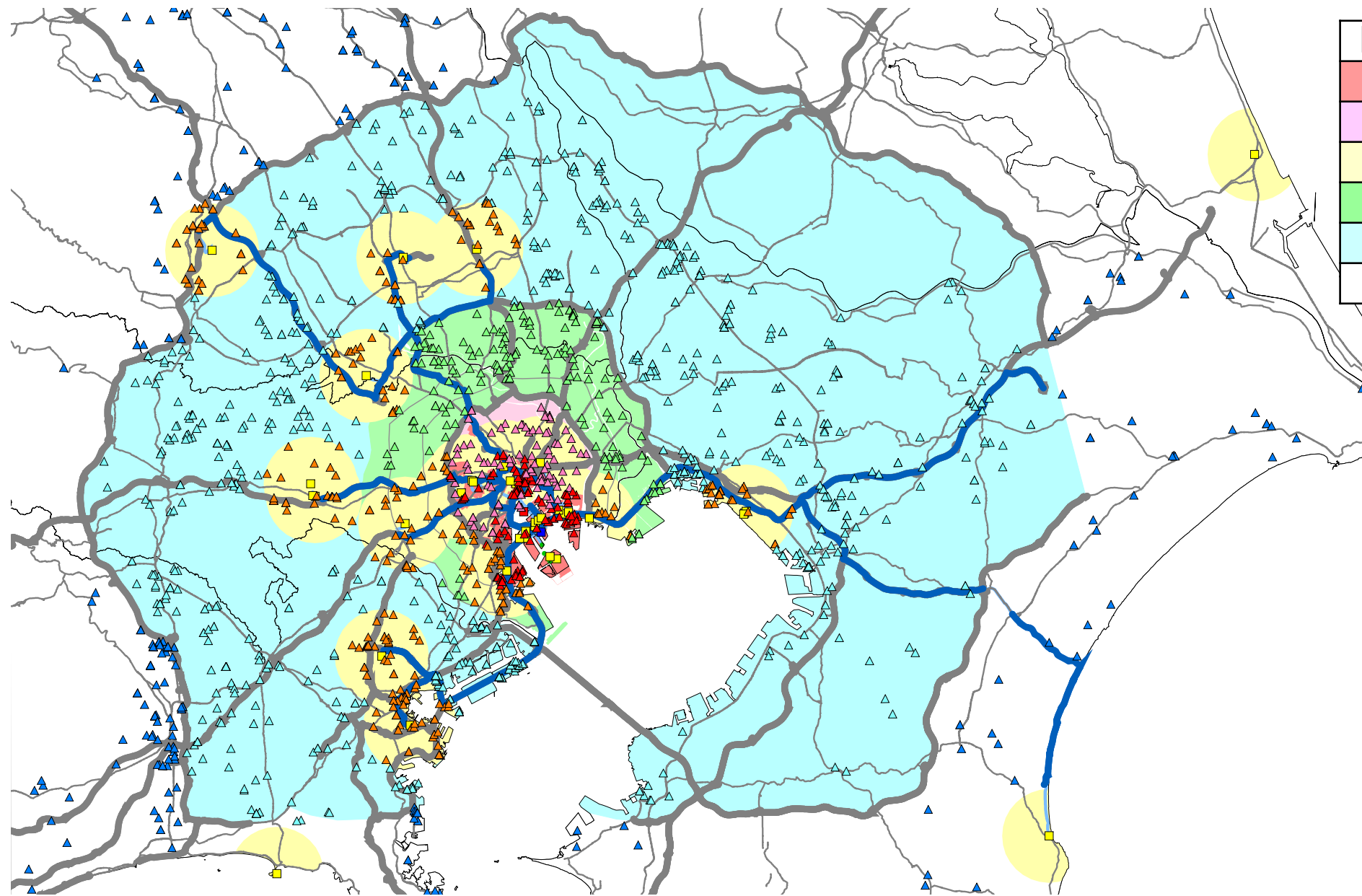
【オリンピック・パラリンピック】

-  競技会場
-  選手村
-  国際放送センター/
メインプレスセンター
(IBC/MPC)

【道路】

-  ORN(高速道路)
-  その他高速道路
-  ORN(一般道路)
-  ORNのうち整備予定
(一般道路)
-  その他一般道路

Ⅲ-2. 配送難易度別物流施策：納品先MAP



区分	MAPのエリア
	TDM重点取組地区
	首都高内側
	会場半径5km以内
	外環道内側
	圏央道内側
	圏央道外側

【オリンピック・パラリンピック】

-  競技会場
-  選手村
-  国際放送センター/
メインプレスセンター
(IBC/MPC)

【道路】

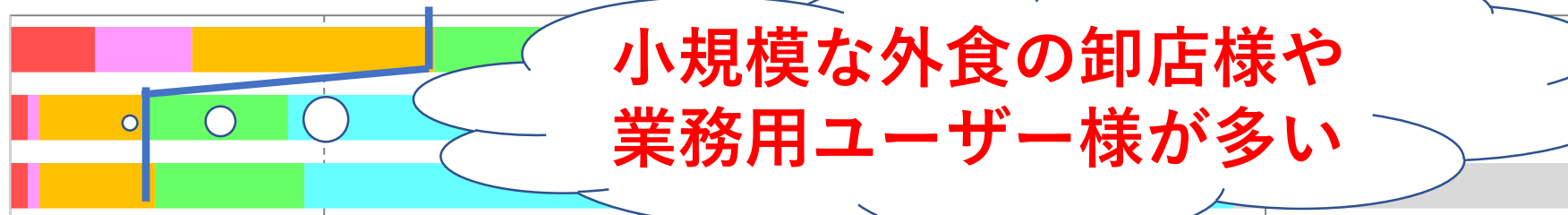
-  ORN(高速道路)
-  その他高速道路
-  ORN(一般道路)
-  ORNのうち整備予定
(一般道路)
-  その他一般道路

Ⅲ．配送難易度属性と対応策：まとめ

	MAPのエリア	配送区分	対応策（案）	ポイント
	TDM重点取組地区	最重点	早朝・夜間配送 検品の簡素化 倉出の促進	・大会で最も混雑するため配送時間を変え、検品も簡素化し速やかな納品を進める。 ・直送から倉出しの促進
	首都高内側			
	会場半径5km以内			
	外環道内側	重点	定曜日配送 検品の簡素化	定曜日配送と検品簡素化で納品作業を効率化する
	圏央道内側	対象	午後配送	混雑する午前から納品時間を午後にする。
	全エリア（全国）	—	N + 2・パレット	リードタイム延長による車両確保と乗務員の荷卸しを効率化を進める

■ 1)TDM重点取組地区内 ■ 2)首都高内側 ■ 3)会場半径5km以内 ■ 4)外環道内側 ■ 5)圏央道内側 ■ 6)圏央道外側
 0% 20% 40% 60% 80% 100%

届け先数
 CS（ケース）
 グロス重量（kg）



IV. 計画概要

	2019年		2020年		
	7月～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
共通物流施策 推進(N+2等)					
配送難易度別 施策の確定					
行政・食品 各社との調整					
TDMに関する 広報					
営業BCP訓練	 オリパラ時、台風等を想定したサテライトのBCP訓練				
主要納品先と のテスト・調整					
本番化					

V. TDMを通じたお約束の実現

調味料・食品を確実にお届けする事で
お・も・て・な・し を円滑に実行。



製：メーカー

配：卸店

販：ユーザー
小売店

物流



ありがとうございました。